

○学びサポート環境づくり事業費 1億2,013万6,000円

(概要) 特別支援補助員・非常勤講師（特別支援教育対応・少人数指導対応）・臨時看護師を配置する経費を計上するもの。

質疑

学びサポート環境づくりの事業内容はどのようなものか。また、発達に課題のある児童生徒への支援のために、支援員には専門的な訓練を行っているか。

答弁

学びサポート環境づくり事業では、少人数教育実施のための非常勤講師や、特別支援学級支援のための介助員、普通学級に在籍する発達に課題を抱える児童を支援するための支援員の配置を行う。

支援員に対しては、平成30年11月に研修会を開催した。2019年度は早い段階で研修会を開催し、専門的な知識を持つ方を講師に迎えての研修や、支援員の意見交換の場を設けていく。

地域福祉分科会

議案第1号 平成31年度鈴鹿市一般会計予算

○地域づくり推進事業費 1,754万7,000円

(概要) 市内全地域での地域づくり協議会の設立を目指し、地域への人的支援と、地域にとって使いやすい一括交付金の交付、また、地域とコミュニケーションを図りながら施策や事業を進めていくことのできる職員の人材育成などに取り組むための経費を計上するもの。

質疑

地域計画策定のための予算額はいくらか。また、地域づくりに係る職員研修会の内容はどのようなものか。

答弁

従来は各地域づくり協議会に20万円または30万円補助金を交付しているが、2019年度は地域計画を策定するための費用として20万円の上乗せを考えている。

職員研修については、地域づくりに関する講師を依頼し、支援職員を対象とした研修会や、採用8年目や10年目を迎える職員を対象とした研修を行う。

○子ども医療費 7億638万9,000円

(概要) 子ども医療費の対象者が医療機関を受診した際に支払った自己負担額（医療保険適用分に限る）を助成する経費を計上するもの。三重県の福祉医療費助成制度として2分の1の補助を受けて実施する。

質疑

子ども医療費の助成費用と県から受ける補助金の対象について詳しく知りたい。

答弁

県の補助金は、0歳から12歳までの子どもが対象で、扶助費として5億8,256万5,000円を計上している。市単独事業分としては、中学生の入通院分があり、入院分532万円、通院分8,923万4,000円を予算計上している。